

生徒一人一人が意識をしながら行動し、様々なことを学ぶことができました 2年 下田移動教室 9月7日(水)～9月9日(金)

荒川区立中学校では、コロナ禍によりこの2年間、下田・清里とも移動教室は中止でしたが、ようやく今年度再開され、本校でも、D組が6月22日から、1年生が6月29日から、それぞれ2泊3日で清里移動教室を実施しました。そして2年生は、9月7日より下田移動教室に行ってきました。

初日7日(水)、交通状況等のため、計画より少し遅れての学園到着でした。下田に向かう途中、天城付近では小雨でしたが、こちらはまだ降っていませんでしたので、昼食後は予定どおり下田市内の散策を実施しました。ペリーロードや黒船ミュージアム等、下田の文化に触れることができました。



また、下田海中水族館では現地に生息する海洋生物を観察、イルカショーを観ることもできました。学園戻ると雨が本降りになったので、夜は予定していたプログラムを翌日と入れ替え、多目的室で事前学習の発表会を行いました。各学級の代表だけあって、どの発表も見応えがあり、内容的にも聞いていてとても勉強になりました。

2日目8日(木)、午前中の天候に若干不安もありましたが、計画どおり“海コース”で実施しました。最初の見学場所「龍宮窟」は、海側の一部と天井が開いている洞窟で、とても神秘的な風景でした。恵比須島では、クラスごとに記念写真を撮った後、潮が引いた岩場で磯遊びをしました。ちょっと滑りやすい岩に気をつけながら、カニなどの生き物を探したりしましたが、フナムシの多さにみんな戸惑っていました。



一旦学園に戻り、昼食をとった後、歩いて外浦海岸に行き、シーカヤック体験とサンドアート制作をしました。シーカヤックがまだ思うように扱えないなかで、海からの風が強かったため、陸に押し戻されまいと四苦八苦しましたが、だんだん慣れてきて楽しい体験活動になりました。夜は前日予定していたプログラム「ナイトクルージング」、漁船に分乗して下田湾で夜光虫を観察しました。ホタルのような光る様子は珍しく、東京では味わうことのできない自然体験となりました。

最終日9日(金)は天候にも恵まれ、退園式後に予定通りの“山コース”、寝姿山に登りました。日差しも強くなり、道も間違えるなどしてちょっと疲れましたが、1時間程で登り切ることができました。山頂の見晴台で記念撮影後、下山のロープウェイでは特別便も出していただけ、楽に降りてくることができました。

今回の移動教室では、天候等の状況に合わせて、時程等をその都度変更することが多かったですが、生徒一人一人が意識をしながら行動し、予定していた活動・体験をほぼ全て行うことができ、様々なことを学ぶことができました。同じ学年の生徒同士の交流を深めることができ、多くのことを得た行事となりました。

